

## 修学旅行の日程を変更します

羽合小学校の修学旅行は例年通り広島方面へ行く予定で、さらに充実した旅行になるよう訪問先に、JFE スチール福山工場の見学を新たに入れ込むなどして準備を進めてきました。

ところが、新型コロナウイルスの感染が拡大し、学校が3月から臨時休業となり、4月には全国に緊急事態宣言が出されました。修学旅行先である広島県の感染者数も次第と多くなり始めました。このような状況があり、感染の終息を願いながらも、島根県や岡山県をまわる第2案、鳥取県を中心とした(一部岡山県を含む)第3案も同時に検討してきました。

1学期末の個人懇談で、6年生の保護者から修学旅行の質問が多くあったことから、7月31日に第6学年保護者の皆様を対象に、修学旅行説明会を行いました。そこでは、島根県や岡山県の感染者も増えていたことから、第3案の県内を中心とした1泊2日(一部岡山県を含む)の日程の説明を行いました。しかし、その後新型コロナウイルス感染者が県内で増加し、中部地区を含む20例を超える感染者が報告される状況となっています。

このような状況の中で、110名を超える児童や教職員が共に食事をし、入浴し、宿泊することを思うと泊を伴う旅行のリスクは高いと考えます。長い間悩み検討をしてきましたが、第4案である感染リスクが比較的少ない県内日帰りの旅行に変更することにしました。

感染リスクがぬぐい去れないことを理由に修学旅行の中止をすでに決めた小・中学校も多くありますが、羽合小学校では、感染防止対策を十分に行い、国や県が示しているガイドラインに沿って実施したいと思います。なお、県内の感染状況の動向等を注視しながら対応していきますので、今後中止の決定を行う場合もあるということを含んでおいてください。

修学旅行をはじめ2学期の学校行事は難しい対応に迫られています。

## 2学期のスタート 子どもに寄り添った指導や支援を

2学期のスタートに当たり、全職員に職員会で次のことを話しました。保護者の皆様にもお伝えします。

### 子どもに寄り添った指導や支援を

- ・教育は子どもや保護者の信頼の上に成り立つものである。
- ・学校は子どもに自信をつけさせる場所である。
- ・ほめて、認めて、自己肯定感を高める接し方を大切にする。
- ・強く言わなければならないこともある・・・子どもの話をしっかり聞き、自省を促す寄り添った指導をお願いしたい。
- ・日頃から子どもたちの人権を尊重し、子どもたちの思いに寄り添う姿勢を学校全体で共有していく。これは教育の原点であり、羽合小学校が保護者や地域に約束していること。
- ・2学期始業式で子どもたちにも話したが、居心地のよいクラス、やる気のあるクラスになるよう担任の先生、各学年で取り組んでほしい。



その他、2学期は体育の授業の充実を図ること、働き方改革を意識した業務を行うこと、引き続きコロナ対応を徹底していくことなどを伝えています。